

日 時	平成 28 年 9 月 24 日 (土) 9:45~12:30
会 場	川中邸 (東大阪市今米 1-4-38: 近鉄けいはんな線「吉田」駅より東北 300 ㍎)
参加者	当主/今米緑地保存会代表/幹事長/幹事/他 4 名 他スタッフ 12 名
研修事業	大和川付替に尽力した中甚兵衛生誕の地「川中邸屋敷林」を地域のみどりの歴史遺産として次世代に引き継ぐことをめざして、その維持保全されている「みどり大阪・屋敷林を守る会」(東大阪市豊かな環境創造基金補助事業)みどり塾の活動に参画

内 容 I) 川中邸の沿革・保全 江戸時代から存続してきた屋敷林は、かつて燃料などの供給源として、また観賞用、防風・防火林などの役割を果たし、常に人の手が入った特有の生態系が維持・整備されてきたが、今や日常生活に直接関わりのない存在となり、手入れが行き届かない状態の当屋敷林について独自の維持・保全の在り方を探求していく



II) 大和川関連年譜 初参加者用に大和川付替えに至る水害・治水政策・中甚兵衛の関わりを史記に基づく年譜で説明

III) 屋敷林の植生 川中邸屋敷林のある河内平野は太古大阪湾の内海から河内湖、旧大和川の砂礫堆積により低湿地帯となる地盤形成過程から海浜性植物がみられる邸内の植生特徴について解説

IV) 屋敷林植生調査 以前多数のアラカシ・マツ・ツル性植物類が漸減/コケ類を回復/2009 年に木本類 58 種、草本類

105 種の生息が確認されている邸内を調査/解説植物: ウバメガシ/ハラン/マダケ/モウソウチク/ノシラン/ヤブラン/イヌビワ/イヌマキ/エノキ/ムクノキ/ムクロジ/イスノキ/クスノキ/ムベ/アケビ/ナワシログミ/オニヤブソテツ/センニンソウ/ウマスゲ/トウチク/ヤブミョウガ/ヤマフジ/ラカンマキ/カミヤツデ/ハマヒサカキ



振 返 り 貴重な緑が残っており、今後の保全のあり方が課題/立派な屋敷林の維持管理にどの程度協力できるか/歴史を知ることにより保存すべき屋敷林と理解できた/屋敷林の恩恵の理解がないため周辺住民からの苦情が発生している/歴史沿革を知り感動した/樹木が密生しており整備に協力したい/邸内の野鳥で明瞭に確認できたのはヒヨドリ・ドバト/屋敷林は全国に多くみられるが、訪れたのは初めて/周辺環境への配慮から邸内で木を焼却できず、エネルギー循環が閉ざされている/川中邸と同時期に開設された鴻池新田会所は大きな樹木林に覆われ日本庭園風に整備されている



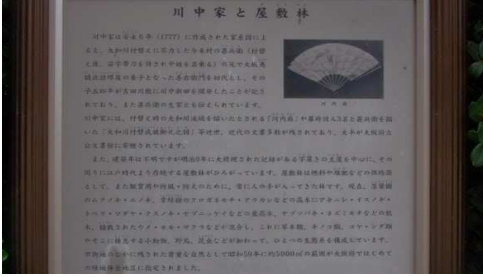
配布資料 中甚兵衛物語/リーフレット: 屋敷林・美杜里乃屋/大和川関連年譜

川中邸の屋敷林

<1>

2016年 9月24日 晴れ

川中家と屋敷林



勝手口



正門への小道



今米特別緑地保全地区



門を入れて正面が玄関



庭の風景



藁屋根



玄関



玄関内: 萱を入れた入れた納屋



玄関内: 天井の梁



室内1



室内2



庭見学1



庭見学2



庭見学3



川中邸の屋敷林

<2>

2016年 9月24日 晴れ

登録有形文化財



納屋



真竹



ハラン ナメクジが食べた痕



二股の根っこ



竹の根を切るための溝



ノシラン



イヌビワ



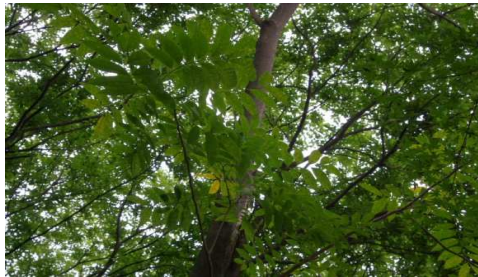
ムクノキ 樹皮



ムクロジ 果実



ムクロジの木



イスノキ 果実



イスノキ 虫こぶ



イスノキ 樹皮



スズメバチの巣



川中邸の屋敷林

<3>

2016年 9月24日 晴れ

ムベ 七五三の葉



ウマスゲ 絶滅危惧種?



ヒガンバナ



ミズヒキ・白花



ミズヒキ・白花



ラカンマキ



隣のマンション屋上から見下ろす…



隣のマンション屋上1



隣のマンション屋上2



マンション屋上から生駒山を



左手が大名竹(唐竹)



ラカンマキ



ギンナン1



ギンナン2



カミヤツデ

